

# 2年 外国語 シラバス

## 1 外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。言い換えると、単語や文法の知識を覚えるだけではなく、それらを使って相手の言いたいことを聞いたり読んだりして正しく理解できるようになることである。また、持っている言語知識を駆使して、自分の考えを書いたり話したりして相手にわかりやすく伝える力を養うことも英語学習の大切な目標である。

## 2 教科における重点目標等

- (1) コミュニケーションに主体的に取り組む態度  
土台となる部分です。外国語という「異文化」を受け入れ、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度があれば、英語力はますます向上していきます。
- (2) 言語についての知識  
意欲があって英語を表現しようとしたくても表現する道具がなければ伝えることができません。授業では、単語や文法などの多くの道具を提供するので、それらを確実に学習することが大切です。
- (3) 表現力  
単語や文法などの道具がそろったら、次は表現の力です。単語や文法を正しく使い、書いたり、話し合う活動を通して、根拠をもとに伝え合う力を育成するとともに、自分の伝えたいことを正確に、(できれば流暢に)表現できる力を向上させる練習をしていきます。

## 3 学力を向上させる方法

- (1) 知識  
その日に習う単語や文法は、授業内で理解して覚えていく。そのためには、予習を欠かさず、ノート作りを丁寧にするのが大切である。
- (2) 音読  
その日に習った単語や英文は、書けるようになることに重視しがちであるが、読めるようになることもとても大切である。授業中に先生の後で大きな声で英語を音読し、家庭では一人で音読できるまでにしておく。発音の仕方は、授業中によく練習することが必須である。
- (3) 表現  
英語を読んだり聞いたりする中で正しい構文を理解することができたら (インプット活動)、何も見ずに自分が伝えたい内容を英語で表現することができるように練習することが大切である (アウトプット活動)。これができて、初めて英語学習が成立する。

## 4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	①外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解している。 ②①の知識を聞く・読む・話す・聞くことによる実際のコミュニケーションにおいて正確に活用できる技能を身につけている。	定期テスト、小テスト ワークやプリントの記述内容 ワークやノートの取り組み状況
思考・判断・表現	①コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解できる。 ②①を活用して表現したり、伝えあったりしている。	定期テスト、小テスト、コミュニケーション活動への参加の様子、授業中の発言、取り組み状況 ワークシートの記述内容、スピーチ・発表活動

主体的に学習に取り組む態度	①外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手（聞き手・読み手・話し手・書き手）に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。自分の考えを話したり、つなぎ言葉を使って話を続けたりしようとしている。（話すこと） ②間違いを恐れずに積極的に活動に取り組める。	発音・音読・発表練習、コミュニケーション活動への参加の様子、授業態度や挙手発言、ワークシートの取り組み、日々の学習での取り組み状況
---------------	--	---

## 5 家庭学習の仕方

<p>(1) 予習では、次に学習する本文の単語の意味を調べ、ノートにまとめ記入する。本文もノートに書く。</p> <p>(2) 復習では、その日に学習した英文を繰り返し音読し（5回以上が望ましい）、宿題として課されたワークに取り組む。</p>
---

## 6 年間学習予定

学期	単元名	学習のポイント
1 学 期	未来形、接続詞 when,if,that 助動詞 must、have to 不定詞 動名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来 be going to～、will</li> <li>・ 接続詞 that、when、if</li> <li>・ 助動詞 must、must not、have to、don't have to</li> <li>・ 不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法</li> <li>・ 動名詞</li> </ul>
2 学 期	比較表現 how to ・ look+形容詞 SVOO 受動態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形容詞と副詞の比較表現・長い形容詞と副詞の比較表現</li> <li>・ 「～の仕方」の表現 ・ 「～に見える、～になる」の表現</li> <li>・ 人と物の二つを目的語にとる表現</li> <li>・ 受動態</li> </ul>
3 学 期	現在完了	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去の出来事が、何らかの形で現在とつながっていることを表現する</li> <li>・ 現在完了の完了、経験、継続、進行形</li> </ul>